

# 令和7年度江東区地域包括ケア全体会議

令和8年3月16日（月）午後1時30分  
江東区文化センター5階 第6～8会議室

## 会議次第

### 議題

- 1 部会からの報告
- 2 多職種連携・住民主体の取組報告
- 3 第2期江東区地域福祉計画（案）について
- 4 その他報告事項

### 配布資料

- 資料1 各部会報告
- 資料2 多職種連携・住民主体の取組事例
- 資料3 第2期江東区地域福祉計画（案）について
- 資料4 令和7年度地域包括ケアシステムのリーフレットについて
- 別紙1 地域包括ケアシステムが毎日を支えます リーフレット（案）

### 参考（机上配布）

番号なし 江東区地域包括ケア全体会議 委員名簿

# 各部会報告

部 会	部会と取り扱う既存会議体等	所管課
在宅医療連携部会	江東区在宅医療連携推進会議 在宅医療多職種連携研修	健康推進課
認知症部会	認知症施策推進会議	地域ケア推進課
障害児〈者〉の医療・ 福祉サービス部会	地域自立支援協議会 医療的ケア児支援連携会議 難病対策地域協議会	障害者施策課 障害者支援課 保健予防課
生活支援部会	下町支え合い会議 高齢者見守り連絡会 高齢者地域見守り連絡会	長寿応援課
情報共有部会	I C T 準備協議会	地域ケア推進課

# 在宅医療連携部会

議会	在宅医療連携推進会議																
内容部会	在宅医療の取り組みを進めるため、医療や介護の関係機関・関係職種で効果的な在宅医療連携の推進策について検討を行う。																
参加者	<table border="1"> <tr> <td>■医師(サポート医、かかりつけ医等)</td> <td>■歯科医師</td> <td>■薬剤師</td> <td>■医療ソーシャルワーカー</td> <td>■看護師(訪問看護師)</td> <td>■介護支援専門員</td> <td>■介護福祉士(訪問・通所)</td> <td>□リハビリ職</td> </tr> <tr> <td>□柔道整復師</td> <td>□社会福祉協議会</td> <td>□社会福祉士</td> <td>□管理栄養士</td> <td>■町会・自治会、一般区民</td> <td>■民生・児童委員</td> <td>□NPO、地域活動団体</td> <td>■長寿サポートセンター</td> </tr> </table>	■医師(サポート医、かかりつけ医等)	■歯科医師	■薬剤師	■医療ソーシャルワーカー	■看護師(訪問看護師)	■介護支援専門員	■介護福祉士(訪問・通所)	□リハビリ職	□柔道整復師	□社会福祉協議会	□社会福祉士	□管理栄養士	■町会・自治会、一般区民	■民生・児童委員	□NPO、地域活動団体	■長寿サポートセンター
■医師(サポート医、かかりつけ医等)	■歯科医師	■薬剤師	■医療ソーシャルワーカー	■看護師(訪問看護師)	■介護支援専門員	■介護福祉士(訪問・通所)	□リハビリ職										
□柔道整復師	□社会福祉協議会	□社会福祉士	□管理栄養士	■町会・自治会、一般区民	■民生・児童委員	□NPO、地域活動団体	■長寿サポートセンター										
課題	<ol style="list-style-type: none"> <li>①地域での在宅医療の体制づくり</li> <li>②在宅医療を進めるためのスムーズな多職種連携の在り方</li> <li>③区民への周知・啓発</li> </ol>																
令和7年度に 行った取組	<p>在宅医療連携推進会議 日時：令和8年2月2日(月) 13時30分～</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・在宅医療連携推進事業の実施報告及び在宅医療についての現状把握、課題共有</li> <li>・区内の在宅療養支援診療所、在宅療養支援病院の患者支援状況についての情報共有</li> <li>・安心して暮らせるための在宅医療や介護連携を進めるための意見交換</li> </ul>																
令和8年度以降の取組	<ol style="list-style-type: none"> <li>①医療や介護連携の充実にむけて             <ul style="list-style-type: none"> <li>・多職種連携研修、訪問看護ステーション実習研修等の実施</li> <li>・24時間診療体制推進のための連携強化</li> <li>・情報共有ツール等の活用</li> </ul> </li> <li>②在宅医療の促進にむけて(普及啓発含む)             <ul style="list-style-type: none"> <li>・医療機関マップ、在宅療養ガイドブックの作成、周知</li> <li>・区民シンポジウム、区民学習会の実施</li> <li>・医療相談窓口等の実施</li> </ul> </li> </ol>																

# 認知症部会

会議

認知症施策推進会議

部会  
内容

「認知症のある方」及びその家族が住み慣れた地域で安心して生活を継続していくために、認知症施策に係る課題及び解決策の検討を目的とする。

参加者

■医師(サポート医、かかりつけ医等)	■歯科医師	■薬剤師	■医療ソーシャルワーカー	■看護師(訪問看護師)	■介護支援専門員	■介護福祉士(訪問・通所)	□リハビリ職
■柔道整復師	□社会福祉協議会	□社会福祉士	□管理栄養士	□町会・自治会、一般区民	□民生・児童委員	■NPO、地域活動団体	■長寿サポートセンター

課題

認知症基本法の理念に即し、「認知症のある方」の意思を尊重した、本人と家族を支える地域づくりの推進

令和7年度に  
行った取組

認知症施策推進会議（全2回）  
 第1回令和7年7月25日（金）  
 【内容】令和6年度の実績報告等  
 第2回令和8年2月19日（木）  
 【内容】令和7年度の認知症関連事業の実施状況報告  
 令和8年度の取り組みについて

令和8年度以降の取組

- ・ 認知症のある方・家族支援の取り組みとして、おれんじの一むや本人ミーティング・家族ミーティング等の新設会場の周知等、地域資源の継続推進
- ・ 認知症サポーターの活動促進、チームオレンジとの連携
- ・ セルフチェックリストのデジタル化など早期の気づき・対応の普及啓発
- ・ 高齢者地域包括ケア計画と一体的に策定する認知症施策推進計画に認知症本人・家族の声を反映するための聴取

# 障害児(者)の医療・福祉サービス部会

会議	地域自立支援協議会							
内容部会	国や都道府県・市区町村の機関やサービス提供事業者等の関係者が、障害者に関する福祉・就労・保健医療等といった分野のサービスを総合的に調整するとともに、地域で生活する障害者を支えるネットワークを構築し、障害の有無に関わらず、誰もが安心して暮らせる地域づくりを推進することを目的とした協議会							
参加者	□医師(サポート医、かかりつけ医等)	□歯科医師	□薬剤師	□医療ソーシャルワーカー	□看護師(訪問看護師)	□介護支援専門員	□介護福祉士(訪問・通所)	□リハビリ職
	□柔道整復師	■社会福祉協議会	□社会福祉士	□管理栄養士	□町会・自治会、一般区民	□民生・児童委員	■NPO、地域活動団体	□長寿サポートセンター
課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 個別事例より抽出する地域課題に関する協議会運営</li> <li>・ 基幹相談支援センター設置後の地域生活支援拠点等の整備</li> </ul>							
令和7年度に 行った取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 協議会の各専門部会（地域生活支援部会、精神部会、就労支援部会、児童部会、権利擁護部会）における課題と取組の報告</li> <li>・ 個別事例検討を通じた地域課題の抽出・共有</li> <li>・ 基幹相談支援センター開設等の区施策に関する報告</li> </ul>							
令和8年度以降の取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 各専門部会より集約した個別事例をもとに地域課題の抽出、課題の共有及び整理を行う。</li> <li>・ 基幹相談支援センターと協働して相談支援体制をはじめとする地域ネットワークの強化、地域生活支援拠点整備のあり方等を検討する。</li> </ul>							

# 障害児(者)の医療・福祉サービス部会

会議	医療的ケア児支援連携会議							
内容 部会	医療的ケア児に対する支援、相談体制等について必要な措置を講じるとともに、関係機関及び民間団体と医療的ケア児支援に資する情報の共有を図る。							
参加者	■医師(サポート医、かかりつけ医等)	■歯科医師	□薬剤師	■医療ソーシャルワーカー	■看護師(訪問看護師)	□介護支援専門員	□介護福祉士(訪問・通所)	□リハビリ職
	□柔道整復師	□社会福祉協議会	□社会福祉士	□管理栄養士	□町会・自治会、一般区民	□民生・児童委員	□NPO、地域活動団体	□長寿サポートセンター
課題	①当事者家族の負担軽減 ②関係機関の連携や情報共有							
令和7年度に 行った取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>・区内の医療的ケア児の状況および各施設等における受け入れ状況の報告と共有</li> <li>・東京都医療的ケア児支援センターの相談状況の報告</li> <li>・医療的ケア児とその家族の生活実態把握アンケート結果の報告</li> <li>・「医療的ケアが必要なお子さんと家族の交流会」の開催報告</li> </ul>							
令和8年度以降の取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>・冠婚葬祭等の緊急時において、重症心身障害児対象の障害児通所支援施設の開所時間外での一時預かりを実施</li> <li>・重症心身障害児(者)在宅レスパイト支援事業の利用者負担額を無償化</li> </ul>							

# 障害児(者)の医療・福祉サービス部会

会議	難病対策地域協議会							
内容部会	令和8年2月3日(火)開催 難病対策事業の報告及び情報交換 その他							
参加者	■医師(サポート医、かかりつけ医等)	■歯科医師	■薬剤師	□医療ソーシャルワーカー	■看護師(訪問看護師)	■介護支援専門員	□介護福祉士(訪問・通所)	□リハビリ職
課題	①難病患者の個々の療養・生活に応じた支援 ②難病患者が利用できる制度・サービスの周知							
行った取組 令和7年度に	<ul style="list-style-type: none"> <li>難病医療費助成申請時の面接で個々の療養・生活状況の確認、利用できる制度の周知</li> <li>改定した「難病事業のご案内」や令和7年3月より作成している「平常時から備え・確認しておくこと」のリーフレット、「緊急医療手帳」等を配布し、内容を共有した</li> <li>災害時の備えとして、災害時個別支援計画の策定や自家発電装置等給付事業の推進</li> <li>委員より、在宅人工呼吸器使用者の停電時の対応について具体的な問題提起がなされ、それについて意見交換を行った</li> </ul>							
令和8年度以降の取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>難病医療費助成申請時の面接で個々の療養・生活状況の確認</li> <li>災害時の備えとして、災害時個別支援計画の策定や自家発電装置等給付事業の推進</li> <li>専門医や医師会、歯科医師会、薬剤師会の他、看護、介護、東京都の担当者やハローワーク、患者代表など多岐にわたった関係機関による意見交換</li> </ul>							

# 生活支援部会

<b>会議</b>	下町支え合い会議、高齢者見守り連絡会、高齢者地域見守り連絡会																
<b>内容</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「下町支え合い会議」は、多様な関係主体間の情報共有及び連携強化を図るため、令和8年2月4日に開催した。</li> <li>・「高齢者見守り連絡会」は令和8年3月5日に開催予定、「高齢者地域見守り連絡会」は全8回、地域ごとに実施した。</li> </ul>																
<b>参加者</b>	<table border="1"> <tr> <td>■医師(サポート医、かかりつけ医等)</td> <td>□歯科医師</td> <td>□薬剤師</td> <td>□医療ソーシャルワーカー</td> <td>□看護師(訪問看護師)</td> <td>□介護支援専門員</td> <td>□介護福祉士(訪問・通所)</td> <td>□リハビリ職</td> </tr> <tr> <td>□柔道整復師</td> <td>■社会福祉協議会</td> <td>□社会福祉士</td> <td>□管理栄養士</td> <td>■町会・自治会、一般区民</td> <td>■民生・児童委員</td> <td>■NPO、地域活動団体</td> <td>■長寿サポートセンター</td> </tr> </table>	■医師(サポート医、かかりつけ医等)	□歯科医師	□薬剤師	□医療ソーシャルワーカー	□看護師(訪問看護師)	□介護支援専門員	□介護福祉士(訪問・通所)	□リハビリ職	□柔道整復師	■社会福祉協議会	□社会福祉士	□管理栄養士	■町会・自治会、一般区民	■民生・児童委員	■NPO、地域活動団体	■長寿サポートセンター
■医師(サポート医、かかりつけ医等)	□歯科医師	□薬剤師	□医療ソーシャルワーカー	□看護師(訪問看護師)	□介護支援専門員	□介護福祉士(訪問・通所)	□リハビリ職										
□柔道整復師	■社会福祉協議会	□社会福祉士	□管理栄養士	■町会・自治会、一般区民	■民生・児童委員	■NPO、地域活動団体	■長寿サポートセンター										
<b>課題</b>	<ol style="list-style-type: none"> <li>①高齢者の活動の場やきっかけづくり</li> <li>②地域の多様な主体が助け合い活動を行っていくための機運醸成</li> </ol>																
<b>行った取組</b> 令和7年度に	<ol style="list-style-type: none"> <li>①「シニア世代地域活動あと押しセミナー」において地域活動の説明・相談会を実施した。地域を支える担い手による活動事例を紹介し、受講生への多様なきっかけづくりを図った。</li> <li>②「高齢者生活支援体制整備事業」において、区内全域を対象とする第1層協議体に加え、「江東区地域福祉計画」の中圏域を対象とする第2層協議体を開催した。今年度は新たに城東南部で第2層協議体立ち上げた。</li> </ol>																
<b>取組</b> 令和8年度以降の	<ol style="list-style-type: none"> <li>①別事業である「自悠大学」、江東区社会福祉協議会の「ボランティア・アカデミー」にて同内容の講義等を実施することから、事業効率化の観点より、「シニア世代地域活動あと押し事業」は令和7年度をもって廃止する。</li> <li>②地域課題の解決に向けてより主体的な活動となるよう、支援をしていく。また、深川北部地区において、新たな第2層協議体の立ち上げを目指す。</li> </ol>																

# 情報共有部会

会議

I C T 準備協議会

部会  
内容

地域の医療・介護関係者間の I C T を活用した患者情報の共有について

参加者

■医師(サポート医、かかりつけ医等)	■歯科医師	■薬剤師	□医療ソーシャルワーカー	■看護師(訪問看護師)	■介護支援専門員	■介護福祉士(訪問・通所)	□リハビリ職
□柔道整復師	□社会福祉協議会	□社会福祉士	□管理栄養士	□町会・自治会、一般区民	□民生・児童委員	□NPO、地域活動団体	■長寿サポートセンター

課題

I C T を活用した情報共有について

令和7年度に  
行った取組

前年度と状況に変化がないため、休会とした。

令和8年度以降の取組

個人情報等の観点から、協議会のテーマを「ICTを活用した情報共有」へ見直すとともに、今後のICTツールの活用に向け、施策内容等に沿った情報の共有を進める。

# ◆多職種連携の取組事例

# ◆住民主体の取組事例

多職種連携の取組  
事例

- 事例 1 江東社会福祉士会
- 事例 2 東京都理学療法士協会江東区支部

住民主体の取組  
事例

- 事例 1 江東区助け合い活動連絡会通信

## 江東社会福祉士会の取組

江東社会福祉士会

### 1 設立の目的

江東区民の社会福祉サービスの発展、社会福祉に関する知識の普及・啓発を図るとともに、社会福祉士としての専門的技能の研鑽、専門職相互の連携を図り、江東区における社会福祉の増進に寄与することを目的としています。

そして、江東区をベースに、より身近な地域で地域特性を踏まえたトータルな福祉実践活動を追究している任意団体です。

### 2 構成員 部会

構成員は、社会福祉士に限らず、福祉関係者、事務職、行政書士等他職種で構成されております。本活動に興味がある方であればどなたでも参加できます。

会費は無料です。

部会（定例会）は、毎月第3火曜日 19時から開催しております。

### 3 令和7年度活動報告

会員の各領域における活動を支援するべく調査研究や研修・交流の機会を提供しております。

講演会 9/26 「クレプトマニアからの脱却」

学習会 1/28 「『自立生活援助』とは何か」

3/27（予定）「離婚後の共同親権 子どもを巡る課題を考える」

研修会 9/12 「介護保険25年を検証するー制度の原点と現在地ー」

交流会 1/16 交流会は社会福祉に興味がある関係者との交流を深める会です。  
38人の参加者がありました。

定例会 毎月1回第3火曜日

総会 6/7 記念講演「技術と福祉」（講師：元 芝浦工業大学工学部教授 中村広幸さん）

### 4 令和8年度活動計画

- (1) 社会福祉に関連する研究、人的交流
- (2) 会員相互の参加による学習会を開催する
- (3) 会員及びその他の社会福祉関係者との交流を深める
- (4) 定例会で情報交換を深め、さまざまな分野の福祉の現状を理解する

定期総会

定例会

学習会

研修会

区民向けイベントなど

交流会 交流会は社会福祉に興味がある関係者との交流を深める会です。



# 公益社団法人 東京都理学療法士協会

## 江東区支部 組織紹介

江東区在勤会員数 379名

事務局:江東リハビリテーション病院、江東病院、東京城東病院

## 令和7年度活動報告

- ◆ 通いの場の支援(令和7年4月28日@北砂西、6月17日@住吉)
- ◆ 江東区民祭りでの相談会(令和7年10月18日、19日@木場公園)
- ◆ ウォーキング講座(令和7年11月17日@サロンド南砂)
- ◆ 体力測定会(全12回 @区内各所)
- ◆ 地域ケア会議(全4回 @区内各所)
- ◆ 区民公開講座(令和8年2月22日@総合区民センター)



## 令和8年度活動計画

- ① 江東区民祭り2026での相談会
- ② 区民向け公開講座
- ③ デジタルデバイス活用講座
- ④ 都民向け公開講座@東京都立大学

# 助け合いのまちづくりを進めよう！ 江東区助け合い活動連絡会通信 No.28

発行：江東区助け合い活動連絡会 発行日：2025年9月1日  
連絡先：江東区社会福祉協議会 地域福祉推進課（電話03-3640-1200）

残暑お見舞い申し上げます。今年の夏は連日の猛暑で大変でしたが、ようやく秋の訪れを感じるようになりました。皆様、お変わりなくお過ごしでしょうか。9月に入っても厳しい残暑が続きます。皆様、体調管理に十分留意し、お過ごしください。以下、6月以降の連絡会の主な活動の報告と当面の活動計画のご案内です。ご一読ください。

## 助け合いのまちづくりを進めよう 2025年度 第1回定例連絡会の報告

6月27日（水）、高齢者総合福祉センターで助け合い活動連絡会の2025年度第1回定例連絡会を開催し、会員関係者42人が参加しました。吉野代表の開会挨拶に続いて、事務局から連絡会の活動報告として2025年度（第9回）総会、グランドゴルフin大島、こども・子育て応援団フォーラム開催準備などの報告を行い、区担当課から令和7年度孤独・孤立対策連携会議、社協から高齢者見守り支援事業、ふれあいサービス、社協カフェの案内、質疑応答の後、参加団体からの活動紹介を受けました。



活発な意見交換の後、渡辺副代表がまとめの挨拶を行い、閉会しました。

## 江東区助け合い活動連絡会・こうとう親子センター 第1回こども・子育て応援団フォーラムを開催

7月6日（日）に江東区総合区民センターで助け合い活動連絡会・こうとう親子センター共催で第1回こども・子育て応援団フォーラムを開催し、会場席が足りなくなる100人を超える多くの関係者が参加しました。



開会の挨拶は大久保江東区長で、自身の子育て体験も交えながら区のこども・子育て支援施策を紹介しました。続いて①NPO 法人寺子屋みなテラス②木場プレーパークぼうけん隊③ホームスタートこうとうの3団体が活動紹介を行い、最後にグループワークで意見交換・交流をしました。

こども・子育て応援団フォーラムは初めての開催でしたが、区・社協・教育委員会の後援を得て、区内で子育て支援に関わる多くの団体関係者が集い、交流することができました。準備にあたった関係団体・スタッフの皆様、お疲れ様でした。今回の取り組みの成果・教訓をいかし、こども・子育て支援の輪を広げ、第2回フォーラムの開催につなげていきたいですね。

## 第1回江東区孤独・孤立対策連携会議の報告

7月18日（金）に江東区文化センターで令和7年度の第1回連携会議（プラットホーム）が開催され、区関係課・社協・連絡会関係団体・JKK住宅事業部の委員など22人が出席、担当課から令和7年度の取り組みについて提案を行い検討、取り組み事例報告としてコープ南砂助け合いの会の高齢者見守り活動、社協の取り組みなどが報告され、意見交換を行いました。連絡会では、参加団体の地域・集合住宅での孤独・孤立対策に関わる取り組み事例を集め、11月に開催する地域福祉フォーラムで報告する予定でいます。関係団体のご協力をお願いします。

## 助け合い活動連絡会 第18回研究会の報告 ＜テーマ＞ 水害避難と助け合い

7月25日（金）、江東区文化センターで連絡会の第18回研究会（テーマ：水害避難と助け合い）を開催、講師は中央大学理工学部の有川太郎教授（海岸・港湾研究室）で、有川研究室の学生6人を含め43人が参加しました。

最初にビデオ「荒川氾濫」を上映（解説：連絡会世話人・北砂アカデミア防災塾の中瀬勝義さん）、続いて有川先生が「水害避難のあり方を考える」と題して、江東5区大規模水害広域避難計画の概要、熱帯低気圧の定義と過去の主な高潮災害、高潮・洪水からの避難支援システムの構築などについて講演を行いました。講演後、4グループに分かれて、参加者に配られた「広域避難アンケート」をベースにしたワークショップが行われ、参加者から①講義を聞いて避難の考えが変わった、②区内には避難場所がない・不明、③広域避難は難しく非現実的、④垂直避難のマニュアルが必要など、多くの課題や意見が出されました。



## グランドゴルフ in 大島 第7回大会の報告

グランドゴルフ in 大島の第7回大会を7月4日（金）に開催し、17人が参加し3班に分かれて競い合いました。以前は女性にハンデ3打が与えられていましたが、この頃の女性陣の上達には目を見張るものがありハンデはありません。今大会の優勝者は大島四丁目の久保貴子さん、5位までのうち3人が女性でした。8月までは夏休みで9/5（金）から再開します。

## 第11回江東区地域福祉フォーラムのご案内 ＜テーマ＞ 孤独・孤立を予防する地域プログラム

江東区・社会福祉協議会・助け合い活動連絡会共催の第11回江東区地域福祉フォーラムを下記にて開催します。今年のテーマは「孤独・孤立を予防する地域プログラム（仮題）」で、講師はNPO法人あなたのいばしょの根岸督和理事長です。昨年のフォーラムでの西田先生からの提言「事後的対応から予防的支援へ」を受けてのテーマ設定です。皆様ご参加ください。

＜日時＞ 11月27日（木）13:30～15:30 ＜会場＞ 江東区文化センター3階 レクホール  
＜内容＞ 基調講演・質疑応答・グループワーク ＜定員＞ 80人（先着申込順／参加費無料）  
＜申込＞ 社会福祉協議会地域福祉推進課（電話03-3640-1200 FAX03-3699-6266）  
※開催案内は江東区報に10/21号に掲載予定。案内チラシは別途作成、配布します。

## 2025 江東区ボランティアまつりに出展

11月29日（土）に江東区文化センターで開催される2025江東区ボランティアまつりに連絡会で出展参加します。当日は2階展示ロビーで住民主体の助け合い活動に関わるポスターなどを展示し、ご案内します。展示したいポスターや写真などのある団体は事務局までご連絡ください。

## 助け合い活動連絡会 第3回定例連絡会のご案内

下記にて連絡会の第3回定例連絡会を開催します。年末の会合ですが、皆様ご参加ください。  
＜日時＞ 12月4日（木）13:30～15:00 ＜会場＞ 高齢者総合福祉センター3階 研修室  
＜内容＞ 連絡会の活動報告、江東区・社協からの情報提供、参加団体からの活動報告ほか

以上

助け合いのまちづくりを進めよう！  
**江東区助け合い活動連絡会通信 No.29**

発行：江東区助け合い活動連絡会 発行日：2026年1月5日  
連絡先：江東区社会福祉協議会 地域福祉推進課（電話 03-3640-1200）

**謹賀新年** 皆様、お元気に新年をお迎えのことと思います。助け合い活動連絡会の活動は本年、11年目に入ります。連絡会は地域や集合住宅で助け合い活動や見守り、サロン活動、子育て支援などに取り組んでいる団体や有志の交流ネットワークで、これまで江東区・江東社協の事業と連携し高齢者や子どもなど地域の住民が安全・安心に暮らしていくことができる住民主体の助け合い活動の普及に取り組んできています。本年も区・社協の協力を得て、定例連絡会や研究会の開催などに取り組んでいきますので、皆様のご協力をお願いいたします。

**砂町よっちゃん家開設 10 周年・法人化  
祝賀パーティのご案内**

東砂七丁目にある多世代交流の里 砂町よっちゃん家（吉野義道代表）は、開設 10 周年を迎え、今後の活動発展を期して一般社団法人として再出発することになりました。これを記念して、下記にて祝賀パーティを開催します。砂町よっちゃん家は、これまで江東区・江東社協、東砂七丁目町会や地域の皆さんをはじめとする多くの皆様のご支援を得て、“地域のみんなの居場所”として活動している助け合い活動連絡会の活動拠点の一つです。

祝賀パーティは、法人化した砂町よっちゃん家のさらなる活動発展を期して、ご支援いただいている皆さんと今後の抱負を語り合う集いです。皆様、ご参集ください。

○日時：3月14日（土）午後3時～5時 ○会場：東砂西地区集会所（東砂7-5-1）

○内容：経過報告・祝辞・出席者自己紹介（一言メッセージ）・歓談

※祝辞は大久保江東区長・清水さわやか財団理事長・渡辺江東社協会長（予定）

○宴席：40人規模 ○参加費：5千円（軽食・飲み物代）

【申込先】2/15までに助け合い活動連絡会 小林（090-5561-5427）までご連絡ください。

**～ 孤独・孤立を予防する 地域プログラム～  
第 11 回江東区地域福祉フォーラムの報告**

江東区地域福祉フォーラムは、助け合い活動連絡会・江東区・江東区社会福祉協議会の共催で毎年秋に開催しています。11回目を迎えた今回は11月27日（木）に江東区文化センターで「孤独・孤立を予防する地域プログラム」をテーマに開催し70人ほどが参加、基調講演とグループワークを行いました。

基調講演はNPO法人あなたのいばしょ理事長の根岸督和理事長で「望まない孤独のない社会づくり」と題して講演。グループワークはテーマ別に①地域のみんなの居場所 ②コミュニティサロンで地域のつながり ③集合住宅での助け合いと孤独・孤立対策 ④参加しやすい運動で地域のつながり ⑤思いやりの地域づくり「認知症カフェ」 ⑥子どもも大人も心豊かに ⑦コミュニティ活動と若者の取り込み ⑧富士・困りごとなんでも相談 ⑨みんなの居場所「社協カフェ」の9席に分かれて行い、それぞれ事例報告を受けて活発な意見交換を行いました。事例報告・進行は連絡会参加団体と社協が努め、各席で交わされた取り組みなどを報告、講師の根岸理事長が講評を行いました。フォーラムの最後に、区危機管理課の大場課長が「江東区防災アプリ」の紹介をして閉会しました。参加者がやや少なかったですが、孤独・孤立対策につながるテーマ別の意見交換、とても良かったです。



最後に、区危機管理課の大場課長が「江東区防災アプリ」の紹介をして閉会しました。参加者がやや少なかったですが、孤独・孤立対策につながるテーマ別の意見交換、とても良かったです。

## グランドゴルフ in 大島 第8回大会の報告

11/28（金）に第8回大会を開催し18人が参加、小峰ハル子さん（大島一丁目町会）が優勝しました。今年度の高得点者5人で競ったチャンピオン大会の優勝は永沢栄一（大島三丁目町会）でした。グランドゴルフ in 大島は1月はお休み、2月から再開します。どなたでも参加でき、用具は会場で貸し出しますので、関心のある方はご参加ください。



汗を流した後の集合写真

## 第23回 江東区ボランティアまつり 助け合い活動連絡会の活動紹介のポスター展示

11/29（土）に江東区主催の第23回江東区ボランティアまつりが江東区文化センターで開催され、2階展示ロビーで「人・地域がつながるコミュニティ活動」として助け合い活動連絡会と参加団体の活動を紹介するポスター20枚ほど展示、リーフレットや活動案内のチラシなどを配布し、助け合い活動の案内を行いました。また、当日は各分野で



2階ロビーに展示したポスター

ボランティア活動に取り組んでいる多くの皆さんと交流することができました。

## 助け合い活動連絡会 第3回定例連絡会の報告

12月4日（木）に高齢者総合福祉センターで第3回定例連絡会を開催し39人が参加しました。吉野代表の開会挨拶に続いて事務局から9月以降の連絡会の活動として①砂町よっちゃん家開設10周年・法人化、②第11回江東区地域福祉フェアラム、③グランドゴルフ in 大島第8回大会、④第23回江東区ボランティアまつりの報告を行い、区福祉課から第2期江東区地域福祉計画（素案）の説明、区危機管理課から「江東区防災アプリ」の説明とダウンロード体験、社協からまちづくり話し合いひろば・サテライト深川北部開設の報告を受けました。続いて参加した9団体から活動紹介をしてもらい、渡辺副代表がまとめの挨拶をして閉会しました。



## 令和7年度 地域貢献活動セミナーのご案内 地域貢献活動の承継・世代交代

下記にて、地域貢献活動を次世代に承継するために、世代交代や活動のあり方などを再確認するセミナーが開催されます。関心のある方はご参加ください。

<日時>1月31日（土）14:30～17:00 <会場>江東区高齢者総合福祉センター3階研修室  
<講師>松本 祐一氏（NPOサポートセンター 代表理事/多摩大学経営情報学部教授）  
<申込先>江東区ボランティア・地域貢献活動センター（電話 03-3645-4087 FAX 03-3699-6266）

## 助け合い活動連絡会 第4回定例連絡会のご案内

下記にて助け合い活動連絡会の第4回定例連絡会を開催します。当日は来年度の活動計画の検討を予定しています。皆様、年度末のご多忙のところとは思いますが、ご参集ください。

<日時>2026年3月6日（金）13:30～15:00 <会場>高齢者総合福祉センター3階研修室  
<内容>①連絡会の活動報告 ②区・社協からの情報提供 ③2026年度活動計画案について

以上

## 第2期江東区地域福祉計画（案）（抜粋）

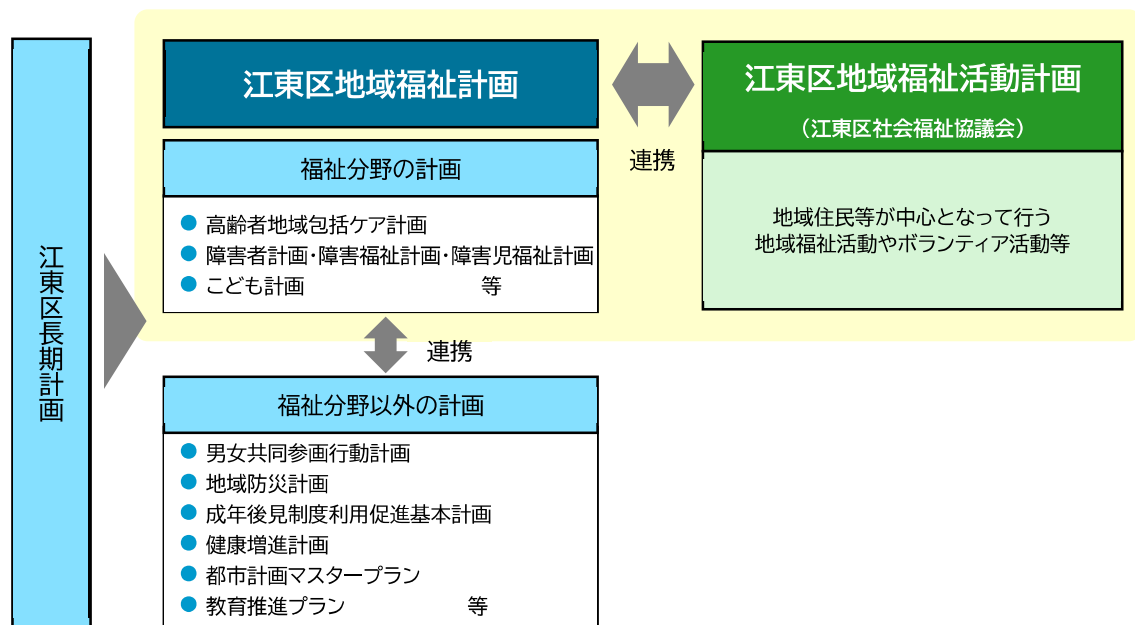
令和8年度～令和11年度

## 2 計画の位置づけ

本計画は、社会福祉法第107条の規定に基づく「市町村地域福祉計画」として策定します。

「江東区長期計画」の部門計画のひとつであるとともに、高齢・障害・こどもなどの福祉施策全般の上位計画として、各福祉分野に共通する概念である地域福祉を推進するための基本指針として位置づけられる計画です。

また、本区の地域福祉の推進に大きな役割を担っている江東区社会福祉協議会が策定する「江東区地域福祉活動計画」とは理念や目標を共有し、十分に連携を図りながら、「車の両輪」として施策に取り組んでいきます。



### 社会福祉協議会の取組

社会福祉協議会は、社会福祉法に基づき「地域福祉の推進を図ることを目的とする団体」として設置された公共性・公益性の高い民間非営利団体です。

江東区社会福祉協議会は、子育てや高齢者地域見守りなどの支援、カフェ・サロンなどの居場所づくり、ボランティア活動の推進、生活福祉資金貸付、成年後見制度推進を含む福祉サービス総合相談などを行っています。

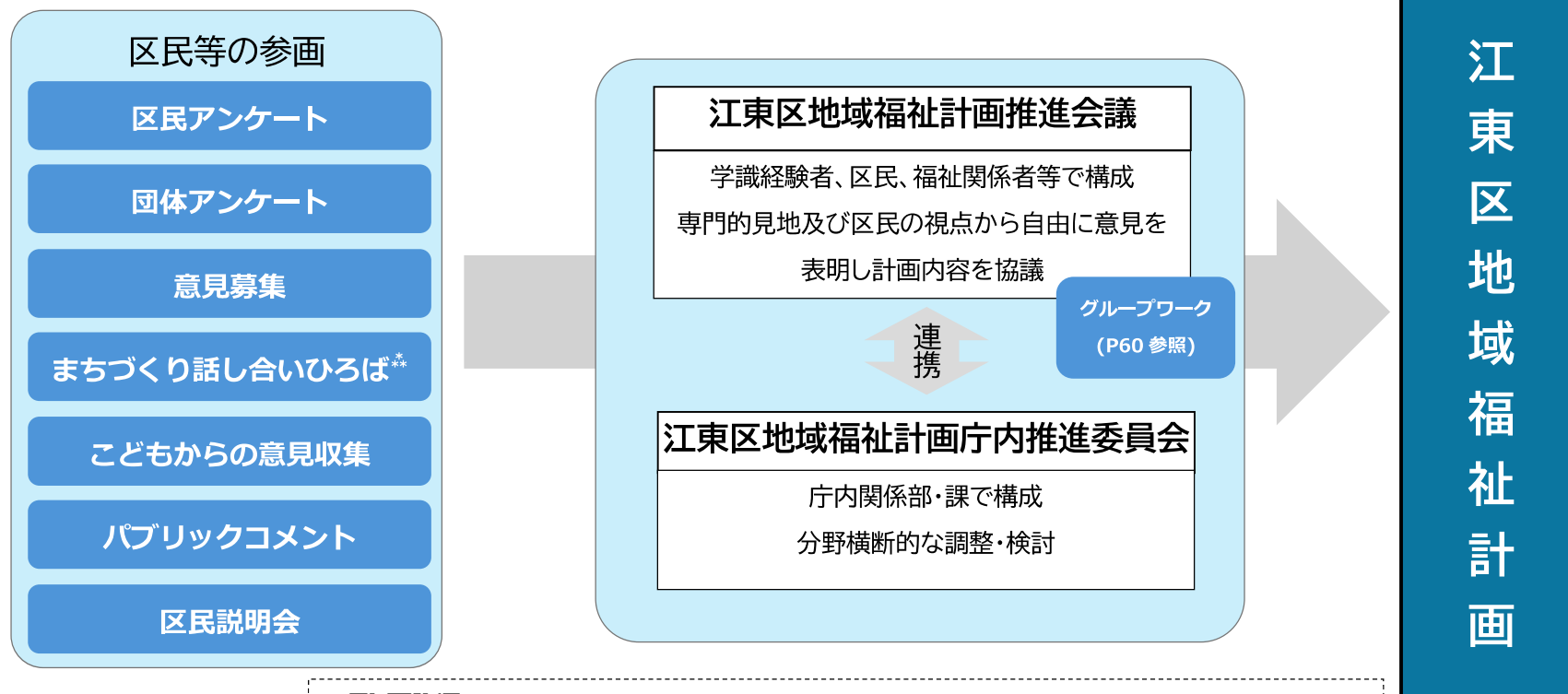
また、複雑化・複合化した地域生活課題に対し、地域福祉コーディネーターが地域住民や関係機関と連携して、その解決に取り組んでいます。

「江東区地域福祉活動計画」は、住民や民間団体の活動・行動を示し、地域福祉を推進する団体として、社会福祉協議会(社協)が住民とともに策定した計画です。

音声コード位置

# 4 計画の策定体制

本計画は区民、地域活動団体、福祉関係団体、社会福祉法人等から寄せられた地域福祉に関する幅広い意見を反映して策定しました。  
区民等の意見を反映するにあたっては江東区地域福祉計画推進会議（外部委員）・江東区地域福祉計画庁内推進委員会（行政）等において十分に協議を行いました。



▶江東区地域福祉計画推進会議の検討経過は区ホームページで閲覧できます。  
URL <https://www.city.koto.lg.jp/210157/fukushi/keikaku/suisin.html>

\*\*まちづくり話し合いひろば：社会福祉協議会「江東区地域福祉活動計画」の策定・評価等を行う地域のプラットフォーム。  
令和7年3月1日にグループワークを実施し、区に期待することや理想の姿について話し合った（参加：34名）。

# 2 江東区の現状

音声コード位置

## (1) 地域福祉に係る主なデータ

本区における人口等の動向と地域福祉への影響を整理しました。

各データの詳細は、資料編 1 統計グラフ (P52~P56) に掲載しています。



①人口 / 外国人住民数	②年齢(3区分)別人口	③世帯数 / 1世帯当たり人員	④出生数 / 合計特殊出生率	⑤町会・自治会加入率
525,952人 / 29,275人 (令和4年1月1日) ↓ 541,685人 / 39,561人 (令和7年1月1日)	年少人口(0~14歳) 66,563人 生産年齢人口(15~64歳) 346,388人 老年人口(65歳以上) 113,001人 (令和4年1月1日) ↓ 年少人口(0~14歳) 64,616人 生産年齢人口(15~64歳) 364,497人 老年人口(65歳以上) 112,572人 (令和7年1月1日)	276,477世帯 / 1.90人 (令和4年1月1日) ↓ 294,261世帯 / 1.84人 (令和7年1月1日)	3,680人(年間) / 1.11 (令和4年1月1日) ↓ 3,471人 / 1.04 (令和6年1月1日)	56.6% (令和4年4月1日) ↓ 54.1% (令和6年4月1日)



<p><b>人口、外国人の増加</b></p> <p>↓</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 価値観の違いや多様性の理解促進が必要</li> <li>● 地域における多文化共生に向けた取組が必要</li> </ul>	<p><b>少子化、高齢化の進展</b></p> <p>↓</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 労働力人口の減少</li> <li>● 仕事と育児・介護の両立支援の普及が必要</li> <li>● 終末期、看取り等の支援が必要</li> </ul>	<p><b>世帯の増加、世帯の小規模化</b></p> <p>↓</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 単身世帯等の孤立化防止対策が必要</li> <li>● 住宅セーフティネットの強化が必要</li> </ul>	<p><b>出生数の伸び悩み</b></p> <p>↓</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 将来の地域の担い手不足</li> <li>● 手厚い子育て支援が必要</li> <li>● こども・若者特有の課題への対応が必要</li> </ul>	<p><b>地域活動参加者の伸び悩み</b></p> <p>↓</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 地域コミュニティの希薄化への対策が必要</li> <li>● 地域活動の担い手不足への対策が必要</li> </ul>
---	---	---	--	--

各データの詳細は、資料編 1 統計グラフ (P52~P56) に掲載しています。



⑥要介護認定者数 / 認定率	⑦障害者手帳所持者数	⑧生活保護被保護人員 / 保護率 / 自立相談支援事業相談件数	⑨虐待等相談対応件数	⑩不登校・児童・生徒数
<p>21,655人 / 19.0% (令和3年12月31日) ↓ <b>23,700人 / 20.8%</b> (令和6年12月31日)</p> <p>※要支援・要介護認定者数 (65歳以上)</p>	<p>身体障害者 15,520人 知的障害者 3,630人 精神障害者 (手帳所持者) 5,510人 (令和4年3月31日) ↓ 身体障害者 <b>15,275人</b> 知的障害者 <b>3,849人</b> 精神障害者 (手帳所持者) <b>6,322人</b> (令和7年3月31日)</p> <p>※複数の手帳所持者をそれぞれの障害にカウントしているため、実数と異なる</p>	<p>9,250人 / 17.55% (令和4年3月31日) 3,554件 (令和3年度) ↓ <b>8,497人 / 15.64%</b> (令和7年3月31日) <b>3,850件</b> (令和6年度)</p> <p>※保護率：人口千人当たりの被保護人員 (単位：パーミル(%)) ※件数は延べ相談件数</p>	<p>児童 1,356件 DV* 402件 高齢者 135件 障害者 18件 (令和3年度) ↓ 児童 <b>1,770件</b> DV <b>473件</b> 高齢者 <b>158件</b> 障害者 <b>42件</b> (令和6年度)</p> <p>※児童は相談通告件数 DVは相談件数 高齢者は新規受付件数 障害者は相談・通報件数</p>	<p>小学校 296人 / 中学校 449人 (令和3年度) ↓ 小学校 <b>551人</b> / 中学校 <b>592人</b> (令和5年度)</p> <p>※区立小中学校、義務教育学校</p>



認定者数の増加	障害者数の増加	生活困窮に関する相談の増加	虐待等相談対応件数の増加	不登校児童・生徒数の増加
<p>↓</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 介護・医療サービス等の需要が拡大</li> <li>● 成年後見等の権利擁護の需要が拡大</li> <li>● 介護の担い手の確保、家族への支援が必要</li> </ul>	<p>↓</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 福祉・医療サービス等の需要が拡大</li> <li>● 親亡き後の生活支援が必要</li> </ul>	<p>↓</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 生活保護に至る前段階での就労・生活支援が必要</li> <li>● 貧困の連鎖を防ぐこどもの教育機会の確保が必要</li> </ul>	<p>↓</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 虐待等を未然に防ぐ啓発が必要</li> <li>● 関係機関と連携した早期発見、分野横断的な支援が重要</li> <li>● 継続的な支援体制が必要</li> </ul>	<p>↓</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 教育機会の多様化と質の確保が必要</li> <li>● こども・若者が地域や社会とつながる機会拡大が必要</li> </ul>

\*\*不登校：何らかの心理的・情緒的・身体的あるいは社会的要因・背景により、登校しない・あるいはしたくともできない状況にあるために年間30日以上欠席した者のうち、病気や経済的な理由による者を除いた者

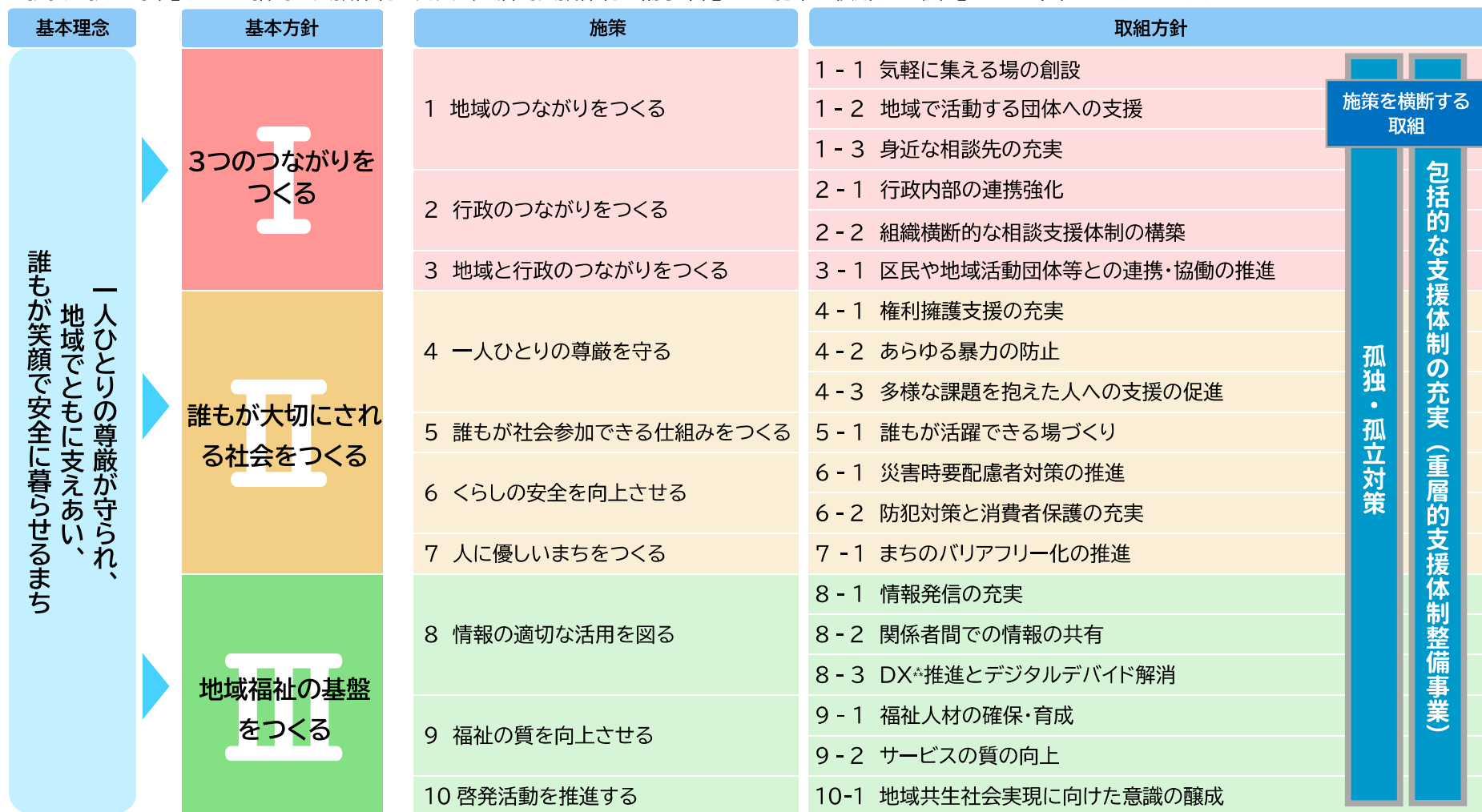
\*\*DV：配偶者間暴力（ドメスティック・バイオレンス）のこと。配偶者や恋人等のパートナーから受ける身体的・精神的・性的暴力のこと。

音声コード位置

# 1 施策体系

音声コード位置

基本理念・基本方針に基づく具体的な取組として、10の施策と19の取組方針を定めました。また、すべての施策・取組方針に関わる内容として、『孤独・孤立対策』と『包括的な支援体制の充実（重層的支援体制整備事業）』を『施策を横断する取組』として位置づけています。



\*\*DX: Digital Transformation の略。デジタル技術を社会に浸透させて人々の生活をより良いものへと変革すること。

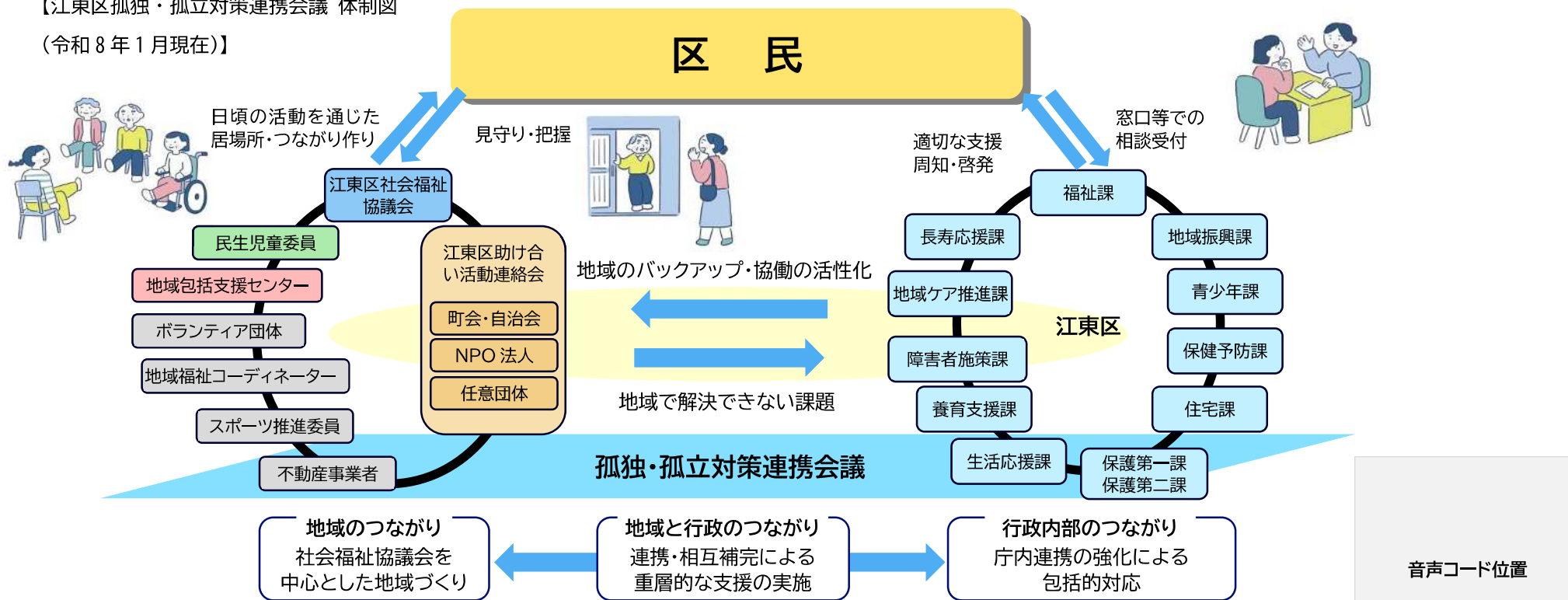
# 2 施策を横断する取組

## ◆孤独・孤立対策

単身世帯の増加、働き方の多様化などによる社会構造の変化やコロナ禍によって孤独・孤立の問題が顕在化したことを背景に、国及び地方において総合的な孤独・孤立対策に関する施策を推進するため、令和6年4月に「孤独・孤立対策推進法」が施行されました。

江東区は令和5年9月に「地方版・孤独孤立対策官民連携プラットフォーム推進事業」の都内初のモデル団体として採択され、区と民間団体で構成する「江東区孤独・孤立対策連携会議」を設置し、孤独・孤立対策の情報共有や具体的な支援策の検討等を行っています。今後も区民アンケートで得られたデータ等を踏まえながら、会議の体制や施策の方向性を見直すなどの取組を進めていきます。

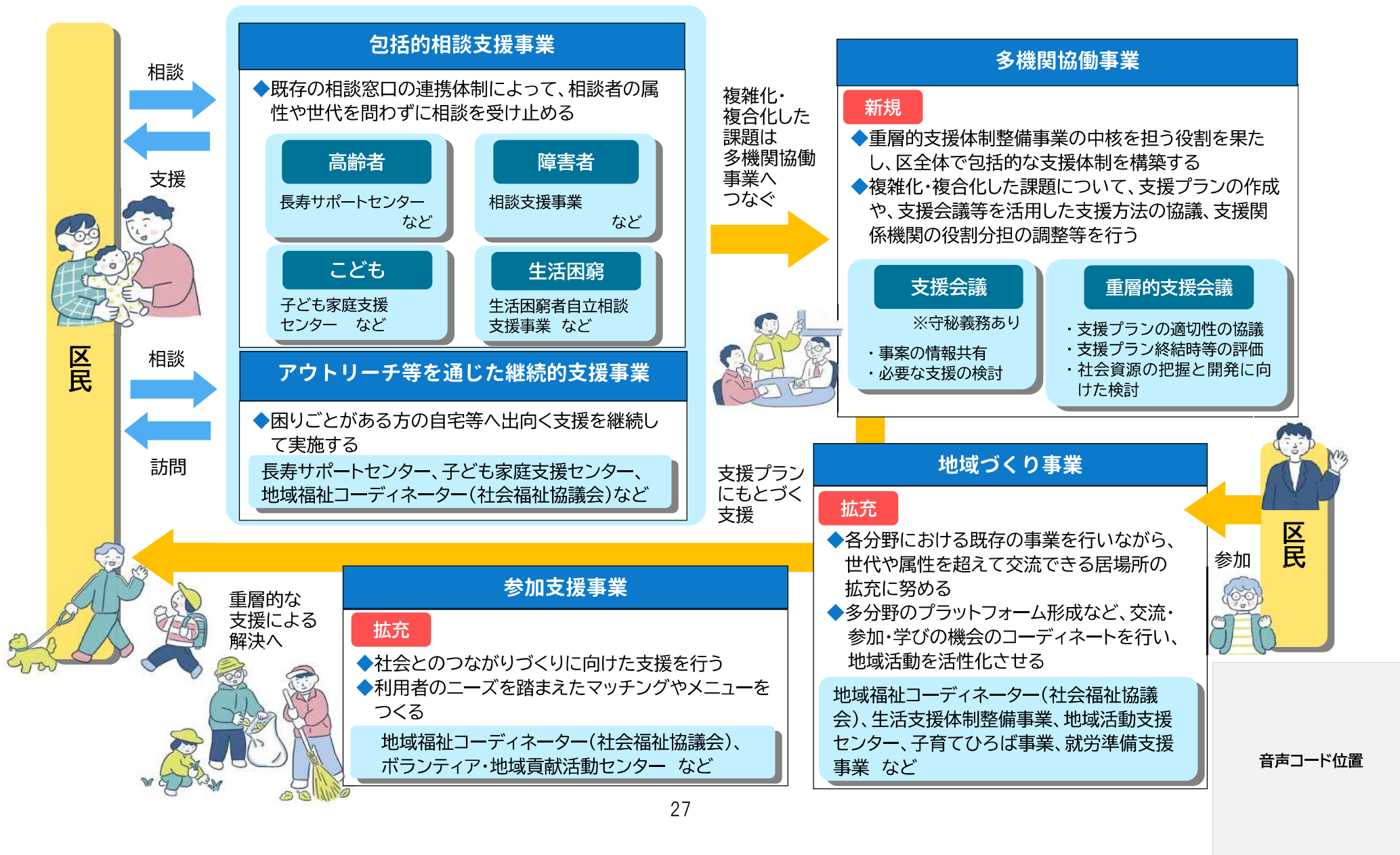
【江東区孤独・孤立対策連携会議 体制図  
(令和8年1月現在)】



音声コード位置

▼本区における実施のイメージ図

多機関協働事業を新たに実施します。また、参加支援事業・地域づくり事業を拡充し、誰もが支援を受けられる環境を整えます。



令和8年3月16日  
福祉部地域ケア推進課

## 令和7年度地域包括ケアシステムのリーフレットについて

標記リーフレットについて、下記の通り作成いたします。

### 1 リーフレット概要

地域包括ケアシステムの理念共有化や区民への普及を目的に作成しており、令和5年度には委員に意見照会し内容の修正を行った。

### 2 令和7年度修正点

- ・ 出典元およびデータの情報を更新した。
- ・ 長寿サポートセンター一覧を更新した。  
所在地の欄を削除し、FAX番号の欄を追加  
豊洲長寿サポートセンターサブセンターを追加
- ・ 長寿サポートセンターの認知度向上のため江東区観光キャラクターコトミちゃんをリーフレットに取り入れた。

### 3 今後の予定

令和8年6月（予定）に各委員の方へ送付いたします。活動等でご活用いただく場合、必要部数を送付させていただきますので、事務局までご連絡ください。

## 2 地域の暮らしでは 私たち自身も支え手に

急速に進む高齢化に伴って、公的サービスや医療機関、介護施設といった地域の資源が不足し、今後、私たちの要望に十分に答えられなくなることが懸念されています。このような変化に対応するために、「地域包括ケアシステム」の構築が進められています。

「地域包括ケアシステム」では、公的なしくみである「共助」と「公助」によって私たちの暮らしを支えられます。それと同時に、自らを助ける「自助」とお互いの助け合いである「互助」によって、私たち自身も地域の重要な支え手になっています。

### 自助

住み慣れた地域で生活するために、自費で民間のサービスを利用したり、介護予防や健診（検診）などで健康管理を行い、自分の力で課題を解決する

### 公助

生活保護、権利擁護、虐待防止など自治体が提供するサービスを受けて課題を解決する

### 共助

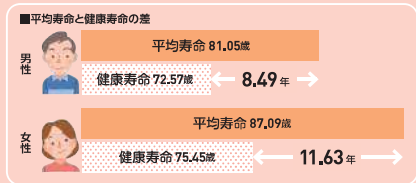
社会保険方式の医療・介護サービスなどを利用して課題を解決する

### 互助

家族や友人、近所の人、ボランティアなど地域住民がお互いに助け合い、それぞれの課題を解決する

### 健康寿命を伸ばしていつまでも元気に

日常生活を制限なく、自立して過ごせる期間を「健康寿命」といいます。平均寿命と健康寿命の差は、男性8.49年、女性11.63年。疾病予防と健康増進、介護予防などによってこの差を縮めることが、私たちの「生活の質」の向上につながります。



何となくいつか「地域包括ケアシステム」って何？

## 長寿サポートセンター一覧



ホームページはこちら

名称	電話番号	FAX番号	担当地域
白河長寿サポートセンター	03-5646-1541	03-3630-6598	常盤、新大塚、森下1・2、三好3・4、白河、高橋
海辺長寿サポートセンター	03-3645-6761	03-3645-6781	平石、石島、千田、海辺、扇橋
住吉長寿サポートセンター	03-3635-0646	03-3632-3617	森下3～5、振江、住吉、毛利
平野長寿サポートセンター	03-5639-9121	03-3641-1522	清瀬、平野、三好1・2、佐賀、福住、深川、冬木、門前仲町、木場3
古石堀長寿サポートセンター	03-3641-2801	03-5621-3545	永代、高岡、荏丹、古石堀、越中島、木場2
東陽長寿サポートセンター	03-5665-4547	03-5606-8863	木場4・5、東陽
塩浜長寿サポートセンター	03-5617-6213	03-5617-6050	塩浜、潮見、木場1・6
豊洲長寿サポートセンター	03-5859-0566	03-5547-5400	豊洲、東雲、有明、青海、海の森
豊洲長寿サポートセンターサブセンター	03-6380-7363	03-6380-7362	
桜川長寿サポートセンター	03-5634-0158	03-5632-2036	桜川、阪巳
亀戸長寿サポートセンター	03-5627-2525	03-5858-8919	亀戸1・2・6
亀戸北長寿サポートセンター	03-5626-0671	03-5626-0133	亀戸3～5
亀戸東長寿サポートセンター	03-5875-3451	03-5875-3452	亀戸7～9
大塚長寿サポートセンター	03-5628-0541	03-3638-4515	大塚3・5・6
大塚西長寿サポートセンター	03-3636-9857	03-5628-5125	大塚1・2・4
大塚東長寿サポートセンター	03-5836-5301	03-3638-3585	大塚7～9
北砂西長寿サポートセンター	03-3615-4860	03-6388-9331	北砂1～3・5
北砂東長寿サポートセンター	03-5606-1744	03-5683-2440	北砂6、東砂1・2
北砂南長寿サポートセンター	03-6660-2050	03-6660-2070	北砂4・7、南砂4・5
東砂長寿サポートセンター	03-5857-8243	03-5857-8240	東砂3～7
南砂長寿サポートセンター	03-3640-9851	03-3640-9920	南砂1・2
新砂長寿サポートセンター	03-5653-1735	03-5632-3212	東砂8、南砂3・6・7、新砂、新木場、夢の島、若洲

### まずは長寿サポートセンター（地域包括支援センター）へ相談を



長寿サポートセンターは、高齢者の保健医療の向上と福祉の増進を包括的に支援することを目的に、地域包括ケア実現に向けた中核的な機関として設置されています。

#### 生活全般の相談を受け付けています

介護、福祉、医療をはじめ、生活全般におけるさまざまな悩みや相談に対して、解決のための支援をします。

#### 高齢者の権利を守ります

虐待防止、成年後見制度の活用促進など、高齢者のさまざまな権利を守ります。

#### 介護予防が必要な方の支援をします

要支援1・2に認定された方、総合事業の対象者や、支援・介護が必要になるおそれのある方などが自立して生活できるよう、介護予防の支援をします。

#### 支援者のネットワークをつくり、適切なサービスにつなぎます

支援を行うさまざまな機関のネットワークをつくり、一人ひとりに適切なサービスを提供できるようにしていきます。

## いつまでも住み慣れた地域で過ごそう！

### 介護予防 日常生活支援 介護 医療 住まい 地域包括ケアシステムが 毎日を支えます



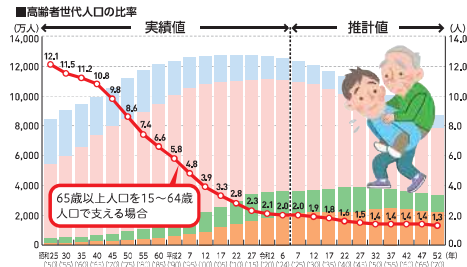
高齢になっても、障害があっても、住み慣れた地域で安心して暮らし続けるために、「地域包括ケアシステム」のしくみづくりが進んでいます。住まいに根づいた暮らしを、公的なサービスや医療機関、介護事業所、そして、地域に住む私たちのつながりが支えます。

# 1 私たちの「いま」、そして「これから」は？

私たちは、世界のどの国も経験したことのない超高齢社会を迎えています。これからは医療や介護をはじめとする暮らしの安心を支えるため、急激な変化に対応していくことが求められています。

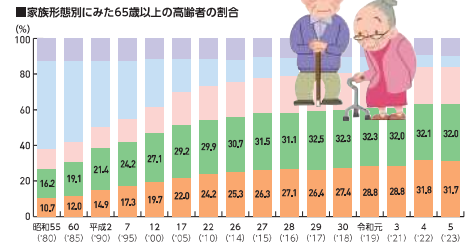
## 現役世代1.3人で高齢者1人を支えることに

高齢化率は上昇し続け、2070年には約2.6人に1人が65歳以上の高齢者になると見込まれています。2024年現在、現役世代2.0人で高齢者1人を支えているのに対し、2070年には1.3人で1人を支えることになります。



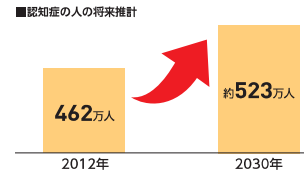
## 高齢者だけの世帯が増加

家族の形が変化しています。高齢者だけの世帯が増え続けており、高齢者のある世帯のうち、高齢者一人暮らし、もしくは高齢者夫婦のみの世帯の割合は、2023年で63.7%になっています。



## 認知症の高齢者の数は増加

認知症高齢者の数は、2012年の462万人（高齢者の約7人に1人）に対し、2030年には約523万人に増えると予測されています。



# 3 地域包括ケアシステムが支える 住まいを中心とした暮らし

「地域包括ケアシステム」は、おおむね30分以内に必要サービスが提供される身近な地域（中学校区）を単位に、介護予防、日常生活支援、介護、医療、住まいのサービスを一体的に提供するしくみです。住まいを中心とした私たちの暮らしを、公的なサービスや医療機関、介護事業所などが支えるだけでなく、老人クラブ、自治会、ボランティア、NPOなど、地域住民の助け合いもシステムを支える重要な役割を担っています。

